

平成25年度 関市総合防災訓練

1. 目的

関市全域での防災訓練を実施することにより、市民に避難、救出、救護及び消火活動等の知識、技術を習熟していただき、災害に対する自助、共助の意識の高揚と自主防災会としての機能強化を図るとともに、災害時における行政機関の迅速かつ的確な活動体制の確立並びに防災関係機関等との連携強化を図ることを目的とする。

2. 日時

平成25年10月27日（日）

午前9時00分から正午まで（職員訓練：午前7時00分から）

3. 場所

関市全域 主地区 板取地域

主会場 関市板取運動公園・関市立板取中学校

4. 主催

関市

5. 協賛

関市自治会連合会 板取支部

6. 参加者

参加予定人数 12,000人（市内全域）

（訓練参加機関）

関市議会、関市消防団、中濃消防組合関消防署、岐阜県防災航空隊、陸上自衛隊第35普通科連隊、関警察署、関保健所、国土交通省、中部電力（株）関営業所、NTT西日本（株）災害対策室、（株）NTTドコモ東海支社岐阜支店、日本赤十字関市奉仕団、武儀医師会、関薬剤師会、関歯科医師会、岐阜県飲食生活衛生同業組合関飲食業組合、関市建設業災害対策協議会、関市管工事協同組合、関建築工業会、関区電気工事業工業組合、岐阜県建築士事務所協会中濃支部、関商工会議所建設部会、中濃生コンクリート協同組合、岐阜県エルピーガス協会武儀支部、関市防災指導員連絡協議会、関市耐震貯水槽消火隊連絡協議会、関市自治防犯防災会、関市女性防火クラブ、命をつなげる会中濃、関市社会福祉協議会、関アマチュア無線連絡協議会、岐阜県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

7. 訓練想定

平成25年10月27日（日）午前9時、南海トラフ巨大地震が発生し、関市役所にて震度6弱の揺れを観測。市内の広範囲において、家屋が倒壊し負傷者が発生、土砂崩れや液状化現象により各地域の道路が寸断した。板取地域内では各集落が甚大な被害を受け、また、同地震により発生した福井県内に所在する発電所のプラント事故により放射性物質が外部に漏えいし板取地域一部への飛散の恐れがある。

災害対策本部長は、関市災害対策本部を設置し市内全域の自主防災会より避難者数及び被害情報を収集、二次災害防止を図るとともに、板取地域の安全を確認した上で同地域に現地災害対策本部及び拠点救護所を設置。災害応援協定に基づく関係機関及びボランティア団体等と協力し避難救援措置を講ずる。

8. 訓練内容

（職員訓練）

職員非常参集訓練、災害対策本部運営訓練、各班対応訓練、車載無線/
同報無線取扱訓練

（市内全域）

緊急速報訓練、住民避難訓練、避難情報伝達訓練、自主防災会防災訓練、
各地域事務所管内にあつては孤立集落災害対応訓練及び災害図上訓練
（DIG） ほか

（主会場）

市民参加訓練

倒壊家屋からの救出救護訓練	ジャッキ等を使用し倒壊家屋からの救出方法を習得
可搬ポンプ取り扱い訓練	可搬ポンプの取扱方法を習得し、放水を体験
消火器取り扱い訓練	消火器トレーナを使用し、消火器の取扱方法を習得
ボランティアセンター登録コーナー	災害ボランティアセンターに登録
アルファ米炊き出し訓練	アルファ米の炊き出しを体験し、試食
心肺蘇生・AED取り扱い訓練	心肺蘇生法やAEDの取扱を習得
避難所運営訓練（HUG訓練）	中学校校舎内で避難所の運営を模擬体験

体験・相談・見学コーナー

スクリーニング訓練 （放射線被ばく検査の体験）	自衛隊資機材等展示コーナー
防災備蓄倉庫の資機材展示コーナー	アマチュア無線中継所
防災情報相談所 （あんしんメール登録窓口）	給水車による給水訓練
煙道体験（煙道からの脱出）	空き缶コンロ実演コーナー
住宅耐震診断相談・測量体験コーナー	防災ヘリコプターによる広報・偵察訓練
LPガスの取り扱い説明・展示コーナー	関市消防団板取方面隊による一斉放水
一般・携帯電話による災害用伝言体験 ・災害時用携帯電話等の展示コーナー	災害対応車両展示コーナー （防災バス・自衛隊・警察・中部電力 ・ソフトバンク・国土交通省 等）

10. 今年度の訓練の特徴

- 各班と連携した実践に合わせた災害対策本部運営訓練（場所：市民ホール）
電話等からの与えられた被災情報を正確に収集、図上等で把握するとともに、係る状況から、本部員が対応等を判断、発信（本部長に具申）するなど、実践的な災害対応の指示につなげる。

災害対策本部運営訓練は、各班対応訓練と並行して実施し、被災状況等の情報収集から処理、指示等に至るまでの一連の動きを訓練するため、一部の班に対して実際に指示し、また、指示に対する報告や自主的な被災状況報告を受ける。

- ※ 訓練当日の朝、一部の班長宛てに24時間以内の各班対応に係る被災状況をメールにて付与し、その想定への対応について班内で協議し、処置した内容を情報ジャーナル用紙に記入、災害対策本部に報告する。

- ※ 一般市民等を演じる支部要員から、電話により、災害対策本部へ被災情報を受信。本部で処理後、担当本部員から一部の班長に実際に指示を出す。指示を受けた班長は、指示に対する処置について班内で協議、確認し、各班処置対応報告書に記入し、本部員に報告する。

（各班対応訓練）

関市地域防災計画における各課（班）の24・72時間以内の対応等に基づき、災害が発生した場合に各班が自主的に、かつ、具体的に行う対応について計画及び訓練する。

- 市民が行う避難所運営訓練（HUG訓練）（場所：板取中学校校舎内）
大規模災害が発生した場合における避難所の運営を模擬体験する。
避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験する訓練。

HUG = (H) 避難所 (U) 運営 (G) ゲームの略

- 原子力災害対応訓練（場所：主会場）

- ・避難者移送訓練

市所管の全バス車両（7台）を板取地域の各避難集合場所19箇所投入し避難者を指定避難所に移送する。

- ・緊急時モニタリング訓練

空気中の放射線測定による安全確認（保健センター班）。

- ・スクリーニング訓練

市民による放射線被ばく検査の体験及び関保健所及び保健センター班による検査手順等の確認

○未来の防災リーダー・スタンプラリーカード（場所：主会場）

板取地域の中学生以下の児童を対象に、主会場の訓練（消火器取扱・小型ポンプ取扱・倒壊家屋救出訓練・煙道体験）を体験した都度、スタンプラリーカードに「はもみんスタンプ」を押印し、全部押印したら防災グッズをプレゼント。

○車載無線／同報無線取扱訓練（場所：市役所庁舎）

各班1名が車載無線及び同報無線の取り扱いについて訓練し、災害時に電話回線等による通信手段が途絶えた場合や、緊急時における限られた人数での情報伝達対応等に備える。

[問い合わせ先] 危機管理課 池田・櫻谷・乾
電話番号 0575-23-7736